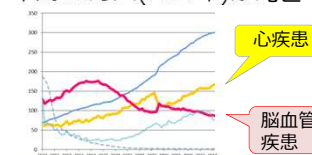


循環器病対策の全体イメージ

現状と課題

1. 死亡原因の第2位

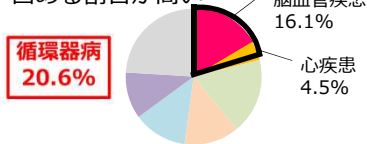
がんに次ぐ死亡原因であり、年間31万人(H30年)が死亡



【沖縄県の課題】
・脳血管疾患
全国は死亡者数は減少傾向にあるが、本県は増加傾向
・心疾患
全国より心疾患による死亡者数の増加率が高い

2. 要介護者の介護原因の第1位 3. 医療費に占める割合が最多

介護が必要となった主な原因に占める割合が高い



循環器系疾患が医療費全体に占める割合が20%と最多。

全体	30兆8,335億円
循環器系	6兆 782億円
新生物	4兆3,766億円

県民の生命と健康、QOL(生活の質)の向上のためにも循環器病の対策が重要

目標：健康寿命の延伸、年齢調整死亡率の減少

施策：予防、知識の普及啓発等

- 発症予防、正しい知識の普及・啓発
- 特定健診等の受診率向上
- 有所見者に対する保健指導及び医療機関受診勧奨
- 発症時の症状、対処法、速やかな救急要請に関する啓発

施策：医療提供体制の充実

- 救急搬送体制、連携
- t-PAや外科手術、血管内治療等、救急医療が24時間速やかに実施できる連携体制の構築
- 患者への情報提供、相談体制
- 急性期～回復期、維持期等の状態や疾患に応じたリハビリテーションの提供
- 小児から成人期まで切れ目のない医療提供

施策：社会連携による循環器病対策

- 医療・介護・福祉が連携した地域包括ケアシステム構築
- 多職種連携、地域連携による緩和ケア
- 後遺症に対する支援体制整備
- 治療と仕事の両立支援等

健康・予防

急性期・回復期

維持期・再発予防

